

利根川・烏川の流れと緑に包まれた

芝根地区

19 梨ノ木山古墳 町史 下茂木 1027-1・2・3



二重の周溝をもち、前方後円墳の可能性がある。出土した埴輪などから五世紀に造られたと考えられる。この地方の支配者の墓と推定される。

20 川井城跡 川井 1192



烏川対岸の金久保城(埼玉県上里町)主斎藤定盛の支城。弟基盛が在城し北条氏直に属していたが、天正一〇年(一五八二)に神流川合戦で滝川一益に攻め落とされた。斎藤定盛の娘をめぐって清水邦正の子孫が摩利支天を祀り、神仏分離により慶応四年(一八六八)から八千矛神社となっている。

21 火雷神社 下之宮 524



雷を祀る神社で、平安時代の律令の施行細則を集大成した『延喜式』に上野十二社の中の八の宮として数えられている。学問の神様である菅原道真公の天満天神も祀られている。

22 東林寺 下之宮 527-1



火雷神社の隣に位置し、中世末期のものとして推定される十一面観音菩薩立像がある。現在は歴史資料館に展示されている。

23 養命寺 箱石 342-1



毎年二月と七月には地蔵祭が行われる。
薬王山瑠璃光院養命寺と称し、古来薬師仏を本尊とした。境内にはお堂が北向きの珍しい3体の地蔵尊が祀られている。

24 重田家住宅 国登録有形文化財 小泉42



重田家は、江戸中期から続く医家として長い歴史を持つ。広い屋敷内には、主屋・蔵・西の蔵・東の蔵・外便所・井戸・屋形・表門及び塀等があり、この七棟が登録有形文化財として登録されている。
【開館日】平日・水・木・金曜日
【開館時間】10時～16時

25 飯玉神社(五料) 五料 1010



応仁2年(1468)、時の領主那波氏が利根川対岸堀口村(伊勢崎市)の飯玉神社の分霊を祀ったのが起源と伝えられる。
7月には水神祭が行われる。
境内にある石

26 五料関所跡 町史 五料1066-1・2・7



日光例幣使道に置かれた唯一の関所。江戸時代初め幕府によりつくられ前橋藩が管理していた。現在は、門柱の礎石と古井戸だけが残されており、昔をわずかにしのばせてくれる。

27 常楽寺 五料 1074



縁起によると聖武天皇勅願、行基開山、天平年間(729～749)の創立とされる。本尊は不動明王。境内には南北朝時代の大師座像をはじめ多くの石造物がある。

●2月11日祝
すみつけ祭(上福島公民館・上福島地区) 町重無民

天狗の面を付けた先達を先頭に、上福島地区の家々を回って、輪切りにした大根に墨をつけ、顔になすりつける。墨を付けられた人はその年、無病息災で過ごせるといわれている。起源は江戸時代元禄年間(1688～1704)といわれ、疫病が流行した当時、転んで鍋の墨が顔についた女性が病気になるなかったことから始まったと伝えられている。

●2月11日祝
稲荷神社獅子舞(上新田稲荷神社・上新田公民館・上新田地区) 町重無民

江戸時代元禄年間から続く獅子舞で、氏子の安泰と五穀豊穡、悪魔払いを祈願する。この獅子舞は稲荷流の一人立三頭獅子舞(牡2匹、牝1匹)で、オトウカ(稲荷)・カンカチ(稚児)・笛・唄で構成されている。

●2月24日・7月24日 ※地蔵かつきは23日 ※変動あり 町重無民
地蔵祭(養命寺・箱石地区)

箱石の養命寺境内の北向き地蔵堂には3体の地蔵があり、その中の一つを担いで、無病息災、火災除けを祈る。明治後期、疫病が流行したときに始まった。

●7月前半の土・日曜日
角淵祇園祭(角淵八幡宮・角淵地区) 町重無民

江戸時代からの祭りと伝えられ、養蚕・蚕種業が盛だった角淵地区では、明治時代に好景気が続き、祭りも盛大なものになった。祭祀する八幡神社は堀西と堀東にあり、屋台もそれぞれ1台ずつ持っている。両組の太鼓の打ち合いである「ぶっこみ」に人気が集まる。

●7月第4土・日曜日
玉村の祇園祭(上新田地区・下新田地区) 町重無民

下新田五・六・七丁目と上新田四丁目で祀られている八坂神社のお祭り。下新田の八坂神社は玉村八幡宮の境内に、上新田は稲荷神社境内にある。各丁目の屋台が県道142号線(旧日光例幣使道)を巡行する。

●10月16日
横樽音頭(南玉住吉神社) 町重無民

南玉地区に伝わる盆踊唄または祝唄系の音頭。10月17日に行われる住吉神社の大祭前夜の宵祭りに、氏子が社で夜を明かす「お籠り」という行事があり、その時飲み干した酒樽を横にして叩いたのが始まりとされる。

玉村町・歳時記

●2月11日祝
樋越神明宮の春鞆祭(樋越神明宮) 国重無民

農耕開始の祭礼として、あらかじめその年の豊作を祝うもの。寛政10年(1798)刊行の『伊勢崎風土記』に祭りの記述があることから、江戸時代以降伝えられてきたと考えられる。境内では榊や榎の枝に餅を付けたものを鞆に見立てて、農作業のしぐさをする。祭りの最後に切り餅やミカンが群衆にふりまかれ、この中に混じっている初穂を拾った人は、その年必ず豊作になるといわれている。

2/11 早春の三大祭り 1日に三つのお祭りを堪能できるオススメプラン!

- すみつけ祭** 午前9時 上福島公民館出発
- 稲荷神社獅子舞** 午前10時 稲荷神社で「剣の舞」奉納。その後地区内を練り歩く。
- 春鞆祭** 午後3時から 神明宮にて祭典 3時30分からは祭りの本番

(時間については毎年予定されている時間掲載。※各祭とも駐車場は用意されており、またお祭りの準備や片付けに協力をお願いします。)

●7月24日
悪魔祓い(藤川)・悪魔払い(飯塚) 町重無民

藤川の稲荷神社、飯塚の飯玉神社境内にある八坂神社のお祭り。「悪魔祓い、悪魔払い」と呼びながら、家々を回る。頭を獅子頭でかじるようににはさんでもらうと悪魔退散になるといわれている。

●7月25日に近い日曜日
五料の水神祭(飯玉神社・五料地区) 県重無民 国の選抜

利根川と烏川の合流する五料は、水運の村として栄えた。水神祭は、元々は船頭や漁師の守り神である水神様を祀るもので、約7mの麦わら舟を御輿に見立てて地区内を回った後、利根川に流す。

●旧暦10月末の午の日
麦時御神事(火雷神社) 町重無民

上野国十二社の一つである下之宮の火雷神社に貞観4年(862)から伝わる秘儀の神事。丑の刻に、暗闇の中で神官が祝詞をあげ、氏子が神社の周りにしめ縄を張る。このときしめ縄を出すのは厳禁とされ、それから13日間、一般の人の参拝も禁じられる。古代の祭りの様子を今に伝える貴重な神事。(真夜中の秘儀のため見学不可)